つなぐ

神守中学校
令和５年度　第３学年　学年通信
No.　１１
令和６年３月５日発行

卒業！…って何だろう？

いよいよ卒業の時を迎えようとしています。3年前、神守中学校へ入学してきた時と同じように様々な気持ちが入り混じっていることだと思います。皆さんの卒業の準備をしていると、子どもの頃こんなことを考えていたことを思い出しました。「『卒業』って何のためにあるのだろう？『卒業』がなかったら、同じような生活を安定して続けていけるのに。友達ともずっと一緒にいられるのに。」と。今、同じような思いの人もいるのではないでしょうか？

卒業は何のためにあるのでしょうか。それは、卒業という形で人生に節目をつくっていくためだと思います。何事もなくただ毎日を過ごしていくよりも、一つ一つの区切りをつけることでいろいろなことを考えるチャンスをもらっているのだと思います。そこで、今の皆さんに考えてほしいことが2つあります。

１つは、これからの自分の在り方を考えること。すでに進路先が決まった人もこれから受験を控えている人もいますが、全員が第１志望の進路先にいけるとは限りません。それは大学や就職先を決める時も同じことです。つまり長い人生の中で、希望の高校に入ることがすべてではありません。自分の願いが叶わず落ち込むことはあっても、その先の人生を諦めてはいけません。与えられた環境の中で何を学ぼうとするのか、そして、人としてどのように成長していきたいのかをしっかりと見つめて歩みを進めてほしいと思います。

２つ目は、感謝の気持ちをもつこと。安定して日々の生活を送ることができるのは、一番に家族のおかげです。毎朝起こしてくれたこと、行事の時に弁当を作ってくれたこと、学校であった事の話を聞いてくれたこと、勉強のアドバイスをくれたこと…家族の協力なしではここまで生活してくることはできなかったでしょう。また、友人に向けて。幼稚園や小学校から一緒に過ごしてきた友人、部活で共に努力した友人、同じ趣味で意気投合した友人、悩んだ時に相談にのってくれた友人…ただ一緒にいてくれたことに感謝しましょう。

感謝の気持ちは、普段はなかなか伝えることができないと思います。もちろん言葉にして伝えることが、一番相手にも伝わると思いますが、言葉で表すことが苦手な人は、態度で表しましょう。例えば、座って話を聞く時の姿勢。卒業証書授与の時の「はい」という返事。そういった所にも感謝の気持ちを表すことができると思います。

感謝の気持ちをもつことは、今に限ったことではありません。誰かに感謝する気持ちは、きっと自分に返ってきます。大事な人に感謝の気持ちをもてる人でいてほしいと思います。

≪保護者の皆様へ≫

お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。保護者の皆様の温かい声かけや見守りがあったおかげで間もなく卒業の時を迎えようとしています。この３年間の中学校生活で子どもたちは心身ともに大きく成長してきたことと思われます。神守中学校で学んだことや感じたことが、一人一人の今後の人生の中で役立つ瞬間が訪れれば幸いだと考えます。保護者の皆様には３年間ご協力いただき本当にありがとうございました。